

お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときはすぐに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。そのまま使用すると、落下によるけがや火災の原因になります。



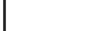
本製品の真下に熱源を置かない

照明器具の真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。



可燃物を近づけない

照明器具を布や可燃物で覆ったりかぶせたり、あるいは燃えやすいものや家具などを近づけないでください。近すぎると相手材の変形・変色や火災の原因になります。



破損したら使用しない

照明器具が破損していることを確認したときは、電源を切り使用を中止し、工事店・電気店に相談してください。使用を続けると感電・火災・落下・けがの原因になります。



分解・改造をしない

照明器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・火災の原因になります。

LED照明使用上的一般注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤作動することがあります。器具とコントローラ受信部を離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤作動したりすることがあります。
- 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近い場合、光漏らが発生することがあります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターで録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

保証とアフターサービス

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

※物件または使用環境により保証内容が異なることがあります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証規定をご覧ください。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

不明な点はお買い上げの販売店、またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)
LED照明サポートコール

0800-111-5300

(受付時間) 平日9:00~18:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通話料無料)

0800-111-9300

(メールフォームに記入のうえ送信してください)
<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>



施工説明書

取扱説明書 保管用

日本国内専用



必ず実施



禁止



定期的に点検する

3年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。設置して8~10年*経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。

*使用条件: 周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)



光を直視しない

点灯中にランプを直視しないでください。目を痛めることができます。

点灯中・消灯直後にさわらない

点灯中や消灯直後は器具が高温になっていることがありますので、触れないでください。やけどの原因になります。

器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

感電・故障・発煙の原因になります。

埋込型スクエア共通 無線調光LiCONEX対応 調光・調色タイプ/調光タイプ

電気工事必要

本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意

図記号の意味



注意を促す記号



してはいけない



[禁止] 内容



しなければならない
[指示] 内容



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

電源は定格で使用する

電圧AC100~242V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hzであることを確認してから、取り付けを行ってください。正しく使用しないと、短寿命や火災の原因になります。



接地(アース)工事を確実に行う

「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。



施工説明にしたがい確実に行う

施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内規規定などの法令や条例にしたがって行ってください。施工が正しくないと、落・感電や火災の原因になります。



器具質量に耐える場所に取り付ける

取り付けが正しくないと、感電や落による重大な事故の原因になります。



破損している器具を取り付けない

感電・火災・落・けがの原因になります。



器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

火災や感電の原因になります。



禁止

粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない

発熱・発煙・発火の原因になります。

可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない

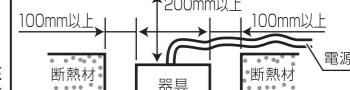
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、照明器具が過熱し、火災・感電・落の原因になります。

分解や改造はしない

照明器具の分解・改造、部品の追加・変更や塗装などはしないでください。落・感電・変形・火災の原因になります。

断熱材・防音材は被せない

断熱材、防音材を被せた状態で使用しないでください。火災の原因になります。設置の際は、器具と断熱材・防音材・造営材など、図のような空間を設けて施工してください。



誤った取り扱いをすると、人かけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



屋内の適正温度(5°C~35°C)で使用する

屋内でも著しい高温で使用すると、故障や発煙の原因になります。



照明制御システムは「LiCONEX」を使用する

アイリスオーヤマ製無線照明制御システム「LiCONEX」を使用してください。他社の照明制御システムと併用して使用しないでください。



振動・衝撃のある場所には取り付けない

破損や落してけがの原因になります。



直射日光の当たる場所には取り付けない

直射日光の当たる場所には取り付けないでください。故障や腐食・落の原因になります。



雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない

水滴や湿気により絶縁不良となり、漏電・感電の原因になります。



酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない

腐食・落の原因になります。

その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- 電源方式により騒音(うなり)が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行なってください。
 - 三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
 - 電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側(充電側)にお取り付けください。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。(接地側のない電源では両切りスイッチを使用してください。)
- 器具は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落したりする原因になります。

取り付け前の確認と取り付けの基本注意



●造営材の強度確認

ボルト取り付け部の強度、天井材の強度が、器具質量に十分耐えることを確認してください。

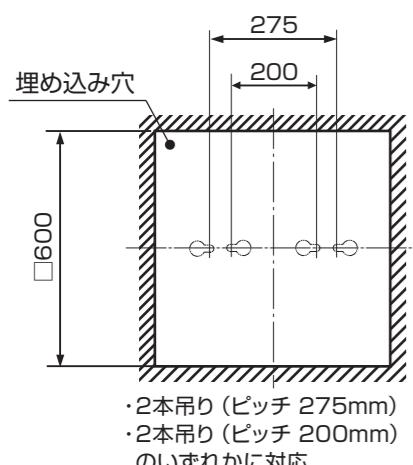
※器具質量は、仕様を参照してください。
取り付けボルトはW3/8またはM10を使用してください。不備があると落下の原因になります。

●天井の取り付け位置と寸法確認

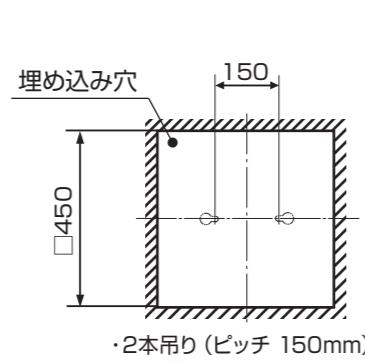
天井の取り付けボルト位置と埋め込み穴の位置・寸法が、下図に対応することを確認してください。

天井の取り付けボルト位置

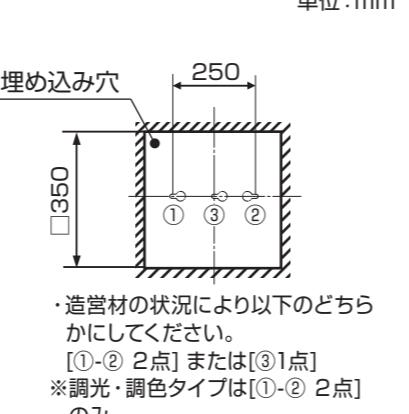
□600タイプ



□450タイプ



□350タイプ



単位:mm

⚠ 取り付けボルト位置は造営材の構造により調整してください。



●断熱材・防音材の施工について

※住宅の断熱施工天井ではご使用できません。

- ・電線配線は、断熱材・防音施工などの上に設置してください。
- ・配線器具に電源線を接触させないでください。

※本書の「警告」に従い施工してください。

取り付けかた

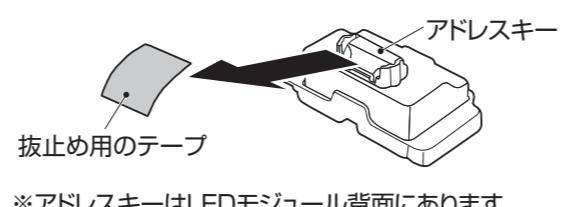
●部品は正確に取り付けてください。

1 アドレスキー抜止め用のテープをはがす

※抜止め用のテープは輸送時のはずれを予防するためのものです。



アドレスキーを抜かないでください。
アドレスキーが抜けかけた場合、軽く押し込んでください。



2 安全確保のため、電源を遮断し、手袋を着用する



●電源を遮断しないで作業した場合、感電・短絡事故の原因になります。
●作業の際は、必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。

3 天井に器具本体を取り付ける

●電源線とアース線を本体の配線引き込み穴からそれぞれ引き込みます。

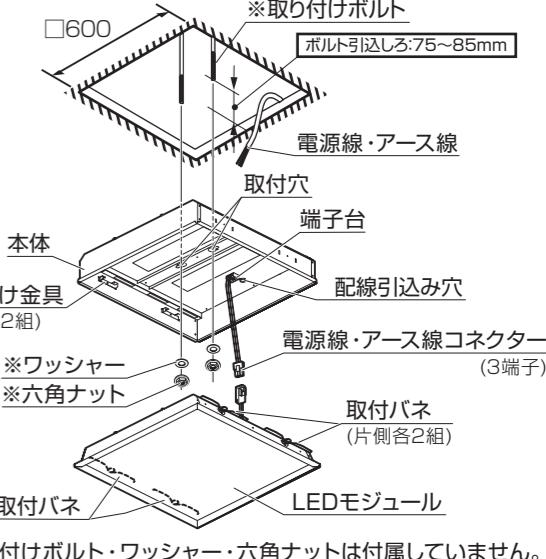
●同時に本体へ取り付けボルトを通し位置を確認し、その後ワッシャー・六角ナットで本体を固定します。



器具には金属部品が多くあります。
安全のため器具本体の取り付け・取りはずし作業時には、保護手袋などを着用してください。



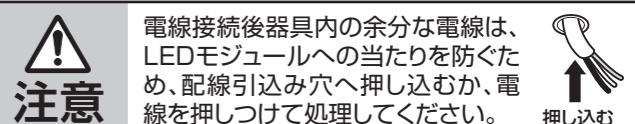
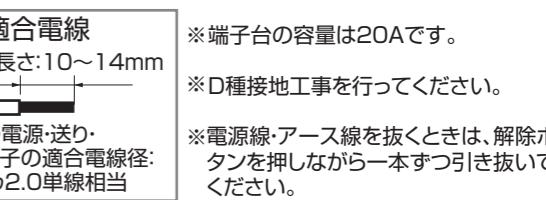
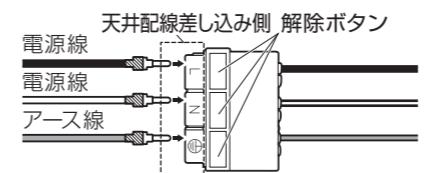
- 取り付けボルトには必ずワッシャーを入れ、ナットは必要以上に強く締め付けないでください。器具破損の原因になります。(推奨トルク値: 0.8N・m)
- 取り付けボルトは必ず「取り付け前の確認と取り付けの基本注意」にしたがい施工してください。またボルトの引込しきは、器具内部の安全確保のため必ず守ってください。



4 電源線・アース線を接続する

電源線・アース線を端子台に確実に差し込みます。

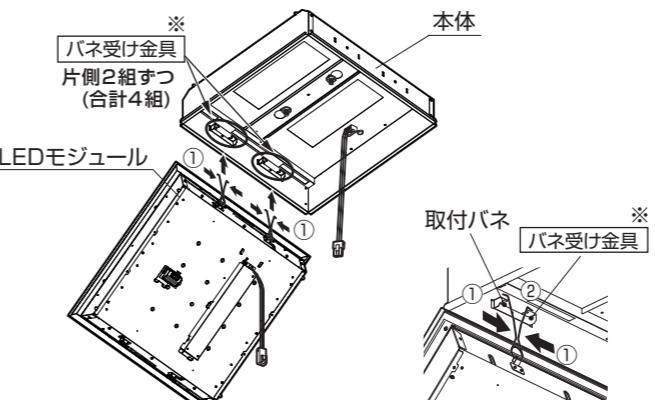
※各配線の芯線が露出しないよう差し込んでください。
差し込みが不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因になります。



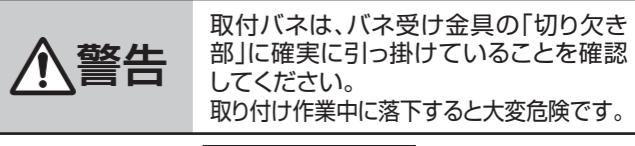
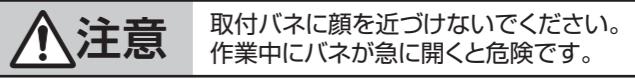
5 本体にLEDモジュールを取り付ける

①LEDモジュールのフレームを持ちながら、取付バネをバネ受け金具の切り欠き部に引っ掛けます。切り欠き部の片側に押し付けながら行うとより簡単です。

②本体側2組のバネ受け金具に引っ掛けます。ここでLEDモジュールをぶら下げた状態にします。



※電源・アース線コネクターについて
器具により、電源コネクター数が異なります。仕様に応じて連結してください。

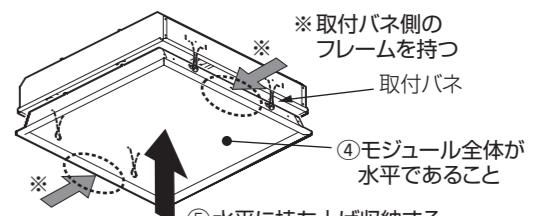


③電源線・アース線のコネクターを連結します。このとき配線でLEDモジュールを引っ張らないようにしてください。故障の原因になります。



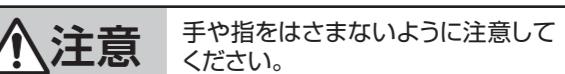
コネクター連結作業中に、取付バネに触れないでください。LEDモジュールが落下するおそれがあります。

④残り2組の取付バネを①と同じ手順で取り付けます。この際、各配線を手でまとめ、LEDモジュールの枠からはみ出さないように収めてください。取り付け後LEDモジュール本体が水平にぶら下がっていることを確認してください。



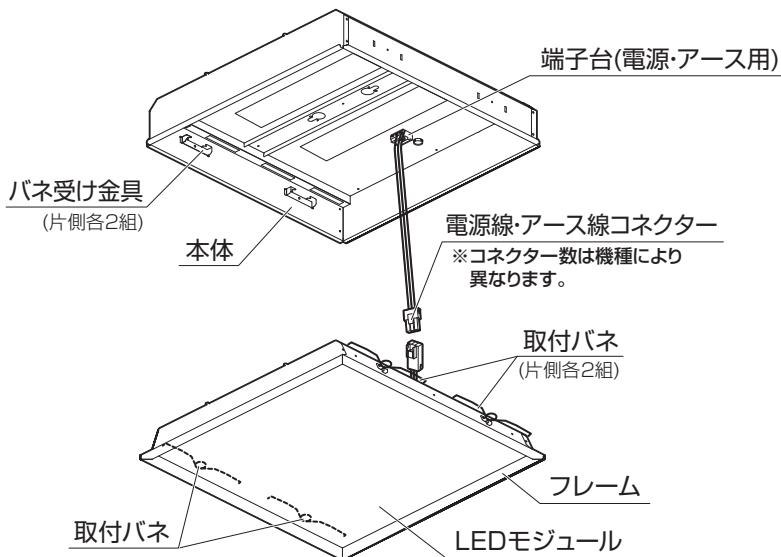
⑤LEDモジュールの取付バネ側のフレーム両端を持ち、ゆっくり水平に持ち上げ器具本体へ収納します。最後にフレーム全周のすき間が均等であることを確認します。

⑥取り付け後点灯確認します。電源を供給し、異常なく点灯することを確認してください。



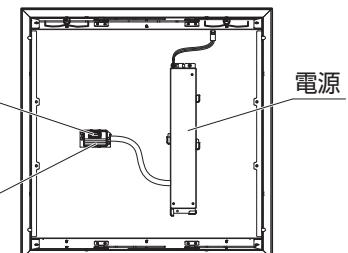
各部の名称

- 取り付ける前に下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはサポートコールまでご連絡ください。



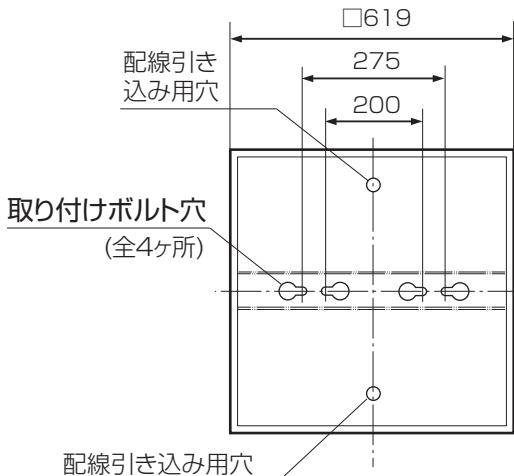
LEDモジュール背面

※各部品の位置、サイズは品番により異なります。

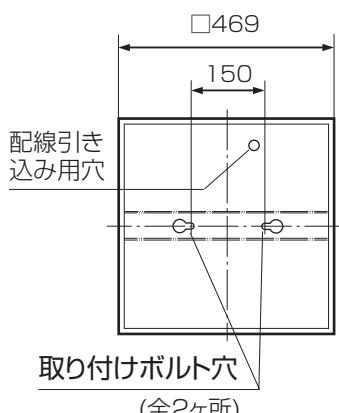


〈器具本体背面図〉

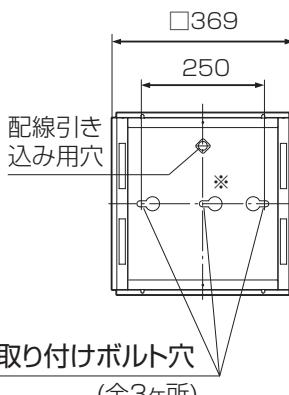
□600タイプ



□450タイプ



□350タイプ



※調光・調色タイプは両端の2ヶ所のみ

品番構成・仕様

■品番構成 [表記例] BL-120N-UKFSQ60-L1

(器具光束(目安)) ×100 (lm)	(色温度) N:昼白色 (5000K) W:白色 (4000K) WW:温白色 (3500K) L:電球色 (3000K) DL:調色タイプ (6500~2700K)	(タイプ) 60:□600タイプ 45:□450タイプ 35:□350タイプ
-------------------------	---	---

■仕様

タイプ	サイズ (mm)	質量 (kg)
□600	L619×W619×H107	7.3
□450	L469×W469×H107	4.7
□350	L369×W369×H107	3.3

●使用電源: 定格電圧AC100-242V、定格周波数 50/60Hz

●LiCONEX無線調光方式

●LEDモジュール設計寿命: 40,000時間

※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の85%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

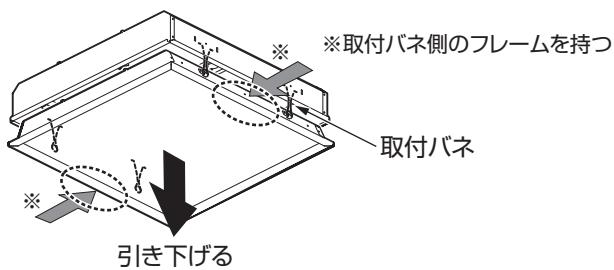
製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

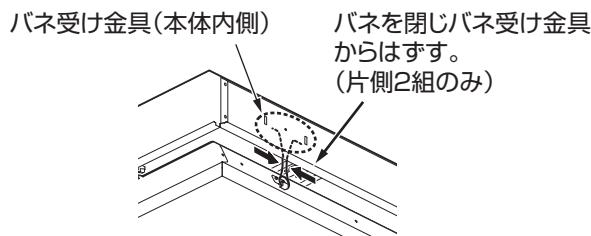
LED モジュールの取り外しかた

①電源を遮断します。

②LEDモジュールの取付バネ側のフレームを持ち、ゆっくり下方向へ引き下げます。ここでLEDモジュールが、取付バネで水平にぶら下がった状態にします。



③LEDモジュールに手を添え、LEDモジュールと本体の間から見える取付バネ2組を閉じながら、バネ受け金具からはずします。



取付バネをはずすときは、LEDモジュールの重さに耐えられる体勢で行ってください。不意な荷重がかかり落下すると危険です。
※[ご参考] LEDモジュール単体質量：
約4.3kg

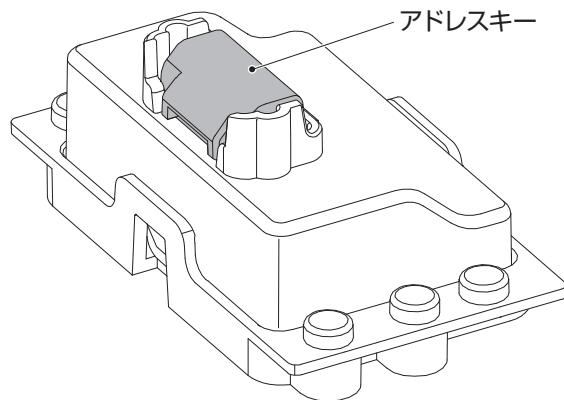
④LEDモジュールをゆっくりおろし、残り2組の取付バネでぶら下げた状態にします。このあと手順5-③から逆の手順でLEDモジュールをはずします。

アドレスキーについて

アドレスキーには、灯具個々の設定情報が保存されています。灯具を交換する際はアドレスキーを差し換えることで設定情報を引き継ぐことができます。



- アドレスキーは灯具にあらかじめ挿入されています。抜かないように注意してください。正しく制御ができなくなります。
- 無線モジュールは器具から外さないでください。
- 灯具の交換およびアドレスキーの差し換えは、弊社営業担当または弊社指定の販売代理店に依頼してください。



■電波の使用に関する注意

本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

- 本製品の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本製品の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- 本製品は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本製品の使用による免責事項について

本製品は 2.4GHz 帯の無線データ通信を行っております。当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- 医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- 故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本製品の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側の過失による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。